重要

2020 年 3 月 18 日　更新

ExtraConsole ICT Manager v4.1 導入時注意事項

ExtraConsole ICT Manager v4.1 導入時の注意事項について説明します。

1.インストール時の注意事項

他 CHIeru 製品と同居する際の電源管理機能について

ExtraConsole の電源管理機能(PCS)は、共通機能として一部の他チエル製品と同一モジュール/設定ファイルを利用して動作します。インストールの順番によっては、PCS で使用する通信ポート番号が変更され、電源管理機能が動作しないことがあります。

ExtraConsole と電源管理機能を持った他 CHIeru 製品が同居する場合には、**必ず ExtraConsole を最後にインストールするようにしてください。**

◎トラブルシューティング

電源管理機能が動作しなくなった場合は、以下の設定変更を行うことで問題を回避することができます。

- PCS のポート番号を変更する
  CaLabo EX など他 CHIeru 製品から送信する PCS ポート番号を、クライアント PC の PCS 待ち受けポート番号に変更します。下記のようにファイルを一部書き換えてください。

【書き換える対象】
C:¥CHIeru¥(製品名)¥Server¥Config¥PCS.ini

【書き換える箇所】

[PCS]		[PCS]
Port=29900	⟶	Port=13600
[ALIVE]		[ALIVE]
Port=29900		Port=13600

アップデート時の注意事項

ExtraConsole Server にアップデートファイルを適用した場合、ExtraConsole Server 上の共有フォルダ ECInst 内にある ExtraConsole Agent のインストーラはアップデートされません。共有フォルダ内のインストーラからインストールした場合は、ExtraConsole Agent にアップデートファイルを適用する必要があります。

また、「アカウント管理」にて Active Directory のアカウント設定を行っていた場合、一部設定は引き継がれますが、ExtraConsole Server v4.1 で項目追加または設定仕様を変更している個所があります。

そのため、以下項目は再設定が必要です。

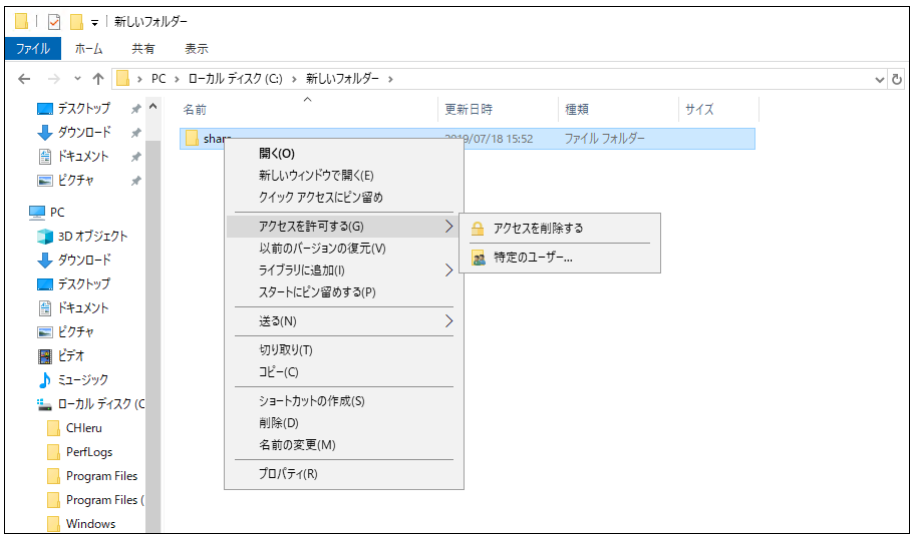
【再設定対象】

・サーバアドレス(IP アドレス→FQDN に設定変更が必要)
・トラストストア(新規に設定追加が必要)
・ストアパスワード(新規に設定追加が必要)

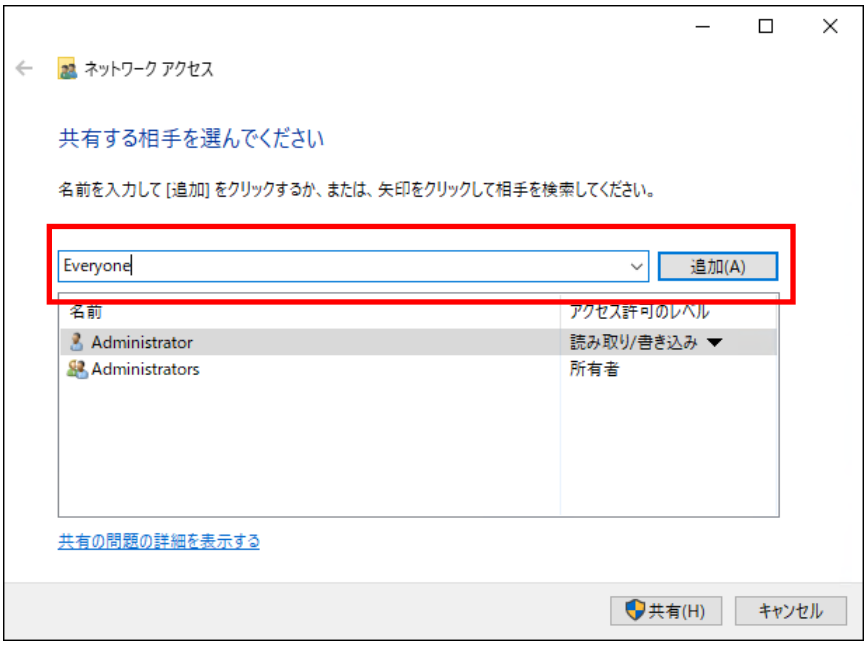
サーバの共有フォルダを Agent のワークフォルダとして指定する場合の設定について

シンクライアント環境では、サーバの共有フォルダを ExtraConsole Agent のワークフォルダとして指定します。
その場合は、フォルダの共有設定で Everyone に読み取り/書き込み権限を付与してください。

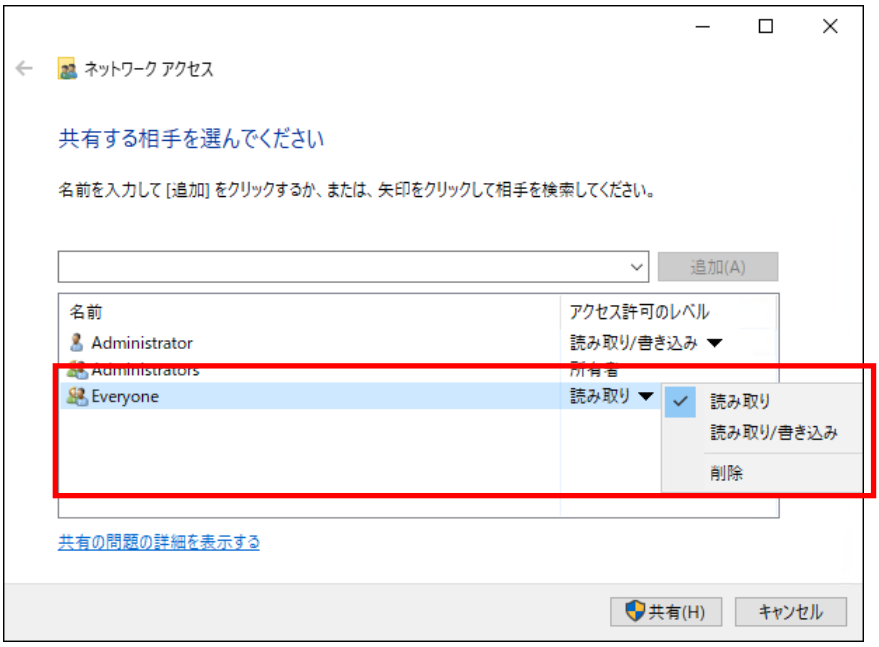
1. ワークフォルダにするサーバ上のフォルダを右クリックし、[アクセスを許可する]－[特定のユーザー]を開きます。



2. ネットワーク上の共有相手として[Everyone]を追加します。



3. [Everyone]を選択し、[読み取り/書き込み]権限を付与します。



4. [共有]をクリックします。

5. ネットワークの検索とファイル共有画面が表示されたら、
[はい、すべてのパブリックネットワークにネットワークの探索とファイル共有を有効にします]を、
クリックします。

6. [終了]をクリックします。

Agent のプッシュインストールを使用する場合のクライアント PC 設定について

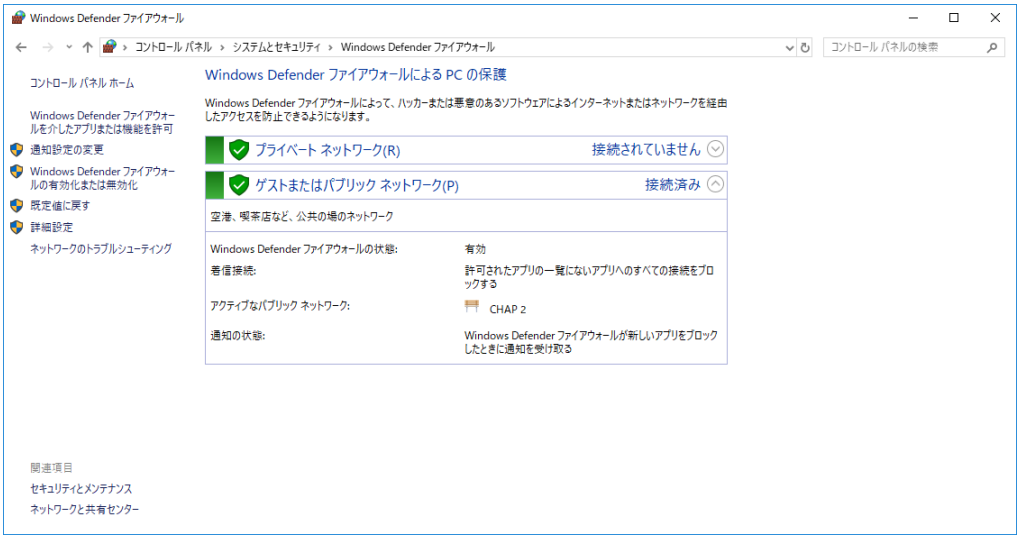
ExtraConsole Server から ExtraConsole Agent をプッシュインストールする場合は、下記設定を行ってください。

※プッシュインストール機能を使用されない場合は、設定を行う必要はありません。

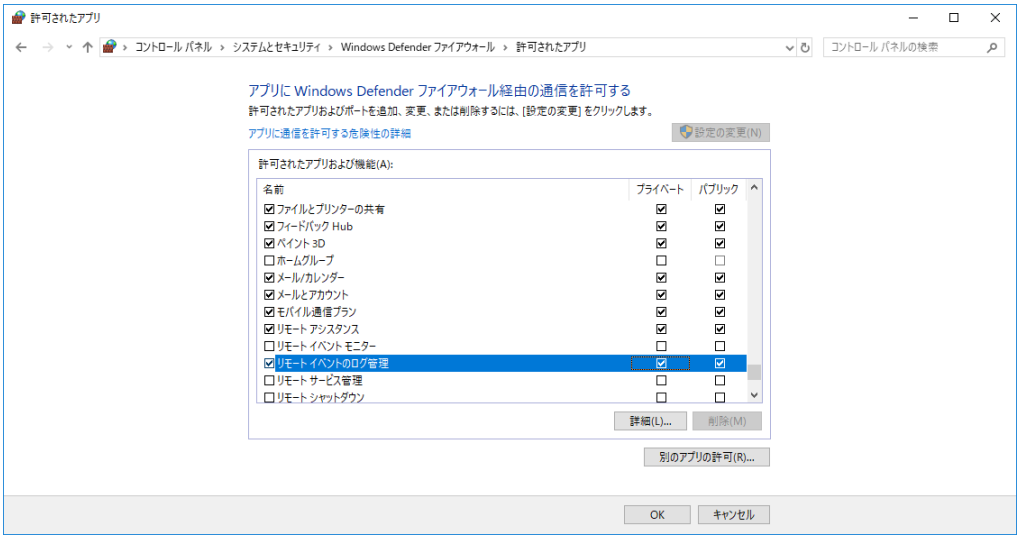
■ Windows ファイアウォールの設定について

対象クライアント PC の Windows ファイアウォールの例外に、[ファイルとプリンターの共有]、[リモートサービス管理]を追加します。

1. コントロールパネルで、[システムとセキュリティ] – [Windows Defender ファイアウォール]を開きます。



2. [Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可]を選択します。



3. [許可されたアプリおよび機能]欄で[ファイルとプリンターの共有]、[リモートサービス管理]を許可し、[OK]をクリックします。

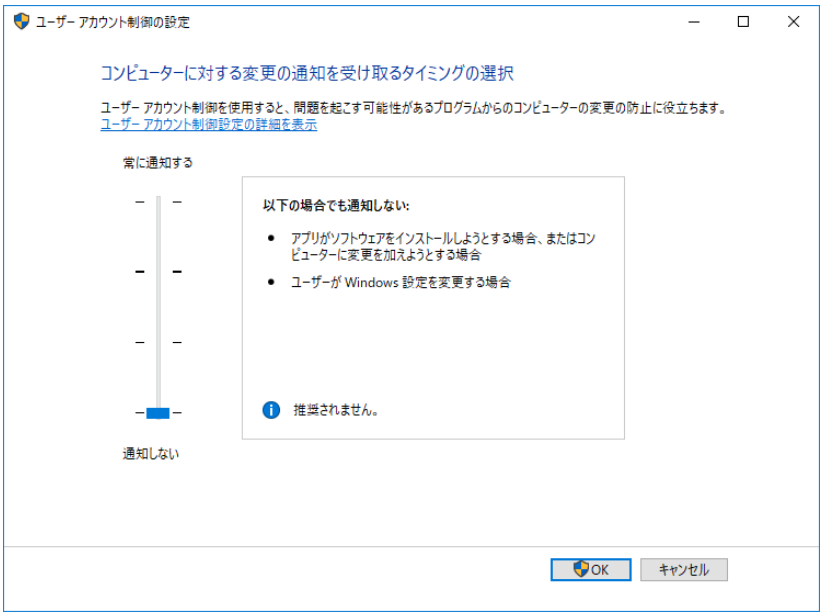
■ 管理共有フォルダへのアクセスについて

ExtraConsole Server からクライアント PC の管理共有フォルダ(C$)に対してアクセスが可能である必要があります。ワークグループ(非ドメイン環境)において管理共有フォルダへアクセスする場合は、クライアント PC の設定変更が必要となることがあります。

【方法１】 UAC(ユーザーアカウント制御)機能の無効化

1. コントロールパネルで、[ユーザー アカウント] – [ユーザー アカウント]を開きます。

2. [ユーザー アカウント制御設定の変更]を選択します。



3. [ユーザー アカウント制御の設定]画面で、スライダーを一番下[通知しない]に変更します。
4. [OK]ボタンをクリックします。
5. 設定の変更後、OS を再起動します。

【方法２】

1. クライアント PC で、レジストリエディタを起動します。
2. HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Policies¥System キーを開きます。
3. 画面右側の空欄で右クリックし、[新規(N)] – [DWORD (32 ビット) 値(D)]を選択します。
4. 名前を、”LocalAccountTokenFilterPolicy” 、データを “1”に設定します。
5. 設定変更後、OS を再起動してください。

■ 管理者アカウントの設定について

ExtraConsole インストール実行時に使用する管理者アカウントにはパスワードが設定されている必要があります。

2.ネットワーク構成における注意事項

Ping、名前解決について

- 自動検知機能では、ExtraConsole Server がインストールされた PC と ExtraConsole Agent がインストールされた PC 間で、Ping 応答することが登録の条件です。
- DHCP サーバをご利用の場合、DNS における名前解決の不整合からクライアント PC の接続状態を誤認識する可能性があるため、固定 IP アドレスでの運用を推奨いたします。DHCP サーバ環境の場合には長めのリース期間設定やリース予約などでの運用をご検討ください。
- ExtraConsole Server / ExtraConsole Agent PC より、ExtraConsole Agent PC の「ホスト名における名前解決」ができていることをご確認ください。
- ExtraConsole Server からの「クライアント自動検知」時に使用する[Windows による名前解決を使用する]オプションは、クライアント PC 上の Windows の名前解決ロジックに準拠しています。また、WINS などの名前解決手段も使用しています。クライアントの IP アドレスを変更された際、DNS サーバ上の情報が変更前の IP アドレスである等、クライアント上の名前解決設定が正しくない場合は、正しい結果が得られないことがありますので、ご注意ください。

NIC、Switch の設定について

- フロー制御は Auto(自動)に設定してください。また、システム/ネットワーク環境によっては、ネットワークスピードの固定設定が必要な場合があります。
- ExtraConsole での Magic Packet(Wake On LAN)によるリモート電源 ON では、Directed Broadcast 通信を使用します。ExtraConsole Server と異なるネットワークセグメントのクライアント PC に対してリモート電源 ON 機能を利用する場合には、対象のセグメントへの Directed Broadcast パケットが通過できるか、ルーター等の設定をご確認ください。
- Switch 間の接続は、同一教室内における最小段数のカスケード接続にて構築ください。
- Fast Ethernet もしくは、Gigabit Ethernet 環境において、同ハブ内に 10BASE の接続がある場合、画面送信等の機能が使用できないことがあります。その場合は、10BASE で接続されているネットワークケーブルを ExtraConsole で使用していない Switch に接続してください。

無線 LAN 環境について

- 無線 LAN 環境や、Wake On LAN に対応していない LAN カード(有線を含む)をご利用の場合、リモート電源 ON 機能は使用できません。
- 無線 LAN 環境では、モニタ機能やリモート機能などの画面受信状態が不安定になりますのでご注意ください。また、通信が不安定な環境下においては、各クライアントのステータスレポートの通信が届かず、ExtraConsole Server 上のステータスデータと一致しないことがあります。

3.動作環境における注意事項

ユーザーアカウント制御設定について

ユーザーアカウント制御(UAC)が有効になっている場合は、ExtraConsole Server からパッチファイル(EXE)を配布すると警告画面が表示され、ユーザーが許可しない限りパッチを実行することができません。UAC を無効にして実行してください。

リモート電源 ON 機能（Wake On LAN)について

- Windows 8.1 端末でリモート電源 ON 機能（Wake On LAN）を利用する場合はクライアント PC にて以下の設定が必要です。

  1. [コントロール パネル] – [システムとセキュリティ] - [電源オプション]を開きます。
  2. [電源ボタンの動作の選択]を選択し、[現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックします。
  3. [高速スタートアップを有効にする（推奨）]のチェックを外し、[変更の保存]をクリックします。

     ※OS 再起動後に設定が反映されます。

4.その他注意事項

Windows Update について

- ExtraConsole の Windows Update 設定内の自動更新設定と参照先設定では、現在設定されている値は表示されません。
- スケジュール機能の「更新プログラム情報収集」を実行後、更新されたプログラム情報がリストに反映されるまでに数分かかることがあります。
- WSUS サーバを使用する環境では、クライアント PC のプロキシサーバ設定などにより WSUS サーバへの接続に失敗し、ExtraConsole にて更新プログラムの一覧が表示されないことがあります。プロキシサーバや例外が正しく設定されているかをご確認ください。クライアント PC から直接 WSUS サーバに接続できる場合は、WSUS サーバのアドレスをプロキシの[例外]項目に追加してください。

  ※Windows Update に使用するプロキシ設定の変更を反映させるには、コマンドプロンプトより以下のコマンドを実行し、コマンド実行後は OS を再起動してください。

  "**netsh winhttp import proxy source=ie**"

  ※プロキシサーバの設定を Active Directory にて構成する場合にも、ご利用環境に合わせた設定を行ってください。
- Windows Update を行う場合は、更新プログラム及び関連プログラムをご確認ください。
- Windows Update Site 経由で Windows Update を行う場合、一部更新できないプログラムがございますのでご注意ください。
- Windows Update の自動更新設定を適用しても Windows 10 64bit には設定が適用されないことがあります。Windows 10 64bit に自動更新を適用させるためには、手動にて Windows Update を実施して更新プログラムを適用してから自動更新設定を適用してください。

スケジュール登録について

- [指定した日]を選択し、日付と時間を入力した場合は、毎年入力した日付に動作を実施するという動きになります。

PC 利用制御について

- 二重ログオン制御または同一 PC 連続利用制御を設定している場合、同一アカウントでのログオンが禁止されることがあります。この設定に加えてスケジュール実行にてログ情報送信設定がされている場合は、ログオン禁止を受けた際のログオン試行履歴がサーバ上に残ります。

システム保護（WinKeeper）の設定ファイル配布について

- 電源 OFF のクライアント PC には、次回以降の電源起動時（EC サーバーとの接続時）に設定ファイルを配布され適用されます。WinKeeper の保護終了 PC には、設定が配布されません。
- 設定ファイルの配布は、保護停止状態のクライアントに対して実施してください。クライアントの状態によっては、WinKeeper 保護中に適用すると、OS の動作に支障をきたす原因となる可能性があります。

システム保護（WinKeeper）の利用シーンの切替について

- 電源が起動中のクライアント PC に対して、切り替えが可能です。電源が起動していないクライアント PC は、切り替えが行えません。ログオン、ログオフの場合にのみ適用されます。
- 利用シーンの切替に失敗した場合は、既存の利用シーンが適用されます。
- 利用シーンの切替を行う際、切り替えを行おうとした利用シーンがクライアント PC に存在しない場合、利用シーンを切り替えることはできません。事前に設定ファイル配布（保護設定）より、該当の利用シーンの設定を配布してから、切り替えを行ってください。

記号の使用について

- 下記の記号については、機能や動作に影響する場合がございますので、ご使用を控えていただくことをお勧めします。

記号一覧： * # ¥ ! $ & % ? @ + = , ` ' " # ~ ^ : ; < > ( ) { } [ ] | /

※Tab キーにて入力された半角スペースも機能、動作に影響を及ぼす場合があるため、ご使用を控えてください。